



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <http://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 古谷岳夫 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 平成29年2月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	210,610	△6.3	21,612	△10.9	22,194	△12.7	16,026	17.3
28年3月期第3四半期	224,673	△3.4	24,261	4.4	25,427	0.8	13,660	△9.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 15,728百万円(183.4%) 28年3月期第3四半期 5,549百万円 (△77.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	72.20	72.11
28年3月期第3四半期	60.21	60.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	404,403	228,269	55.4
28年3月期	384,753	215,586	54.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 224,157百万円 28年3月期 210,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
29年3月期	—	8.00	—		
29年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	△5.3	28,000	△6.2	28,000	△12.9	19,000	5.1	85.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	237,075,556株	28年3月期	237,075,556株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	15,091,818株	28年3月期	15,179,841株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	221,949,300株	28年3月期3Q	226,853,263株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、平成29年1月30日(月)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間を振り返りますと、国内経済は緩やかな回復基調が持続しているものの、減速傾向が続く中国経済や英国のEU離脱問題に伴う欧州経済の不確実性の高まりなど世界経済の下振れ懸念はなお拭えず、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、引き続き「ZΣ運動」による徹底したコスト削減に努めるとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,106億10百万円となり、前年同期に比べて140億63百万円の減収となりました。また、営業利益は216億12百万円と前年同期に比べて26億49百万円の減益、経常利益は221億94百万円と前年同期に比べて32億33百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は160億26百万円と前年同期に比べて23億66百万円の増益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

(エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、円高、市況価格の低迷により販売数量、売上高いずれも前年同期を下回りましたが、第3四半期会計期間の円安と市況価格の回復により営業利益は前年同期を上回りました。

合成ラテックス関連では、第3四半期会計期間は回復基調にあるものの、第1四半期会計期間に手袋用途の販売が低調であったこと、並びに樹脂改質用途の販売が顧客の稼働状況により減少したことが影響し、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

化成品関連では、出荷調整を行なったことおよび市況の軟化・為替の円高進行の影響等により国内販売・輸出ともに低調な結果となりました。この結果、全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期に比べて161億35百万円減少し1,199億45百万円、営業利益は前年同期に比べて27億73百万円減少し135億8百万円となりました。

(高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、医療用途の輸販売が好調に推移し、高機能部材関連では、TV向けフィルムが顧客の在庫調整から回復したことで、高機能樹脂および部材全体で売上は前年を上回りました。一方、モバイル向け光学フィルムの販売が顧客の在庫調整の影響を受けた結果、営業利益は前年同期を下回りました。

情報材料関連では、電子材料および電池材料の売上高は前年同期を上回りましたが、トナーの売上高は前年同期を下回りました。この結果、情報材料全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

化学品関連では、特殊化学品、合成香料ともに販売が堅調に推移しましたが、海外における競争激化等の影響を受けたため、全体の売上高は前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期に比べて19億64百万円増加し559億46百万円、営業利益は前年同期に比べて3億10百万円増加し74億93百万円となりました。

(その他の事業部門)

その他の事業においては、中国子会社を連結の範囲に含めたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、売上高は前年同期に比べて1億92百万円増加し364億70百万円、営業利益は前年同期に比べて4億97百万円増加し23億29百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月31日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）および流動負債（その他）として繰り延べております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,963	15,148
受取手形及び売掛金	64,708	68,667
電子記録債権	1,308	2,928
商品及び製品	47,462	40,943
仕掛品	3,732	4,342
原材料及び貯蔵品	12,534	12,705
未収入金	26,601	27,255
繰延税金資産	4,607	4,362
その他	4,070	6,113
貸倒引当金	△79	△81
流動資産合計	172,907	182,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,793	43,573
機械装置及び運搬具(純額)	47,289	59,064
土地	18,276	18,123
建設仮勘定	23,293	8,295
その他(純額)	5,875	6,134
有形固定資産合計	138,526	135,189
無形固定資産		
その他	4,187	3,678
無形固定資産合計	4,187	3,678
投資その他の資産		
投資有価証券	60,821	73,574
繰延税金資産	320	294
その他	8,295	9,521
貸倒引当金	△302	△235
投資その他の資産合計	69,133	83,155
固定資産合計	211,846	222,022
資産合計	384,753	404,403

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,852	64,390
電子記録債務	1,754	3,293
短期借入金	25,755	17,618
未払法人税等	4,633	2,961
賞与引当金	1,586	222
関係会社整理損失引当金	3,268	2,422
その他の引当金	3,017	1,426
その他	22,563	31,499
流動負債合計	114,427	123,830
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	9,309	5,546
繰延税金負債	6,463	9,160
退職給付に係る負債	13,383	12,523
その他の引当金	386	310
その他	5,199	4,763
固定負債合計	54,740	52,304
負債合計	169,167	176,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	18,387	19,128
利益剰余金	159,255	172,263
自己株式	△12,345	△12,274
株主資本合計	189,508	203,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,713	25,809
繰延ヘッジ損益	△3	3
為替換算調整勘定	6,461	△2,493
退職給付に係る調整累計額	△2,898	△2,491
その他の包括利益累計額合計	21,272	20,829
新株予約権	255	213
非支配株主持分	4,551	3,900
純資産合計	215,586	228,269
負債純資産合計	384,753	404,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	224,673	210,610
売上原価	158,552	147,721
売上総利益	66,121	62,889
販売費及び一般管理費	41,861	41,277
営業利益	24,261	21,612
営業外収益		
受取利息	88	83
受取配当金	1,291	1,233
雑収入	729	445
営業外収益合計	2,108	1,761
営業外費用		
支払利息	464	362
為替差損	—	462
雑損失	478	355
営業外費用合計	943	1,179
経常利益	25,427	22,194
特別利益		
受取補償金	338	486
その他	95	165
特別利益合計	434	651
特別損失		
固定資産処分損	276	424
関係会社整理損	3,566	335
その他	1,980	54
特別損失合計	5,821	813
税金等調整前四半期純利益	20,039	22,032
法人税等	5,910	5,549
四半期純利益	14,129	16,483
非支配株主に帰属する四半期純利益	469	457
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,660	16,026

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	14,129	16,483
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,568	8,079
繰延ヘッジ損益	△2	7
為替換算調整勘定	△1,134	△9,249
退職給付に係る調整額	123	408
その他の包括利益合計	△8,580	△756
四半期包括利益	5,549	15,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,270	15,521
非支配株主に係る四半期包括利益	279	207

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	134,826	53,982	188,808	35,865	224,673	—	224,673
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,253	—	1,253	413	1,665	△1,665	—
計	136,079	53,982	190,061	36,278	226,339	△1,665	224,673
セグメント利益	16,281	7,183	23,464	1,832	25,296	△1,035	24,261

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,035百万円は、セグメント間取引消去△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,031百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、「エラストマー素材事業」1,212百万円、「高機能材料事業」735百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上 高	118,454	55,946	174,400	36,210	210,610	—	210,610
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,490	—	1,490	259	1,750	△1,750	—
計	119,945	55,946	175,890	36,470	212,360	△1,750	210,610
セグメント利益	13,508	7,493	21,001	2,329	23,330	△1,718	21,612

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,718百万円は、セグメント間取引消去△49百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,668百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント情報に与える影響額は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため、記載は省略しております。